

MAM プロジェクト 009：小泉明郎

2009年7月25日〔土〕ー11月8日〔日〕 森美術館 ギャラリー 1（六本木ヒルズ森タワー 53階）



MAM プロジェクトは森美術館が世界各国の才能豊かな若手アーティストを応援するプロジェクト・シリーズです。

小泉明郎（1976年生まれ）は映像作品を中心に制作する新進気鋭のアーティストです。初期作品は、70年代のパフォーマンス・アートをも想起させる自作自演パフォーマンスの記録映像でした。しかし、近作の多くは、作家と登場人物の対話、あるいは物語を語る出演者に作家が演出を加える様子をビデオに収めたもので、題材も作品に登場する人物の実話に基づく幼少期の母親との思い出や、恋人と別れたトラウマなどを扱っています。時にコミカルに、また時に暴力的なまでに描かれるその物語は、激情や陶酔、怒りや悲しみなどを描写しながら、その裏に潜む人間心理の本質や感情について探求する試みで、「ユーモアと不条理のドラマ」とも呼ぶことができます。

小泉は、ロンドンで美術大学在学中の2001年に、ICAの「ボックス・フューチャーズ2」展の学生映像コンペで大賞を受賞しデビューを果たすなど、早くからその才能が評価され、世界各地の展覧会に参加しています。美術館初個展となる本展は、新作を含む2作品を紹介します。今後一層の国際的な活躍が期待される、ビデオ・アートの若き駿才による独自の映像世界をお楽しみください。

小泉明郎（こいずみ めいろう）

1976年、群馬県生まれ。現在、神奈川県在住。2002年、チェルシーカレッジオブアート・アンド・デザイン（ロンドン）卒業。2005～2006年、ライクスアカデミー（アムステルダム）のアーティスト・イン・レジデンス参加。主な参加展覧会に「メディアリーナ」ゴヴェット・ブリュスター・アートギャラリー（ニュージールランド、ニュー・プリマス、2004年）、「アウト・ザ・ウィンドウ」国際交流基金フォーラム（東京、2004年）、「第3回南京トリエンナーレ」（中国、2008年）など。

ICA

ICA (INSTITUTE OF CONTEMPORARY ARTS) は、アートコレクターや作家等の手により、1947年にオープンしたロンドンを代表する複合文化施設。その幅は広く、最先端の現代美術のみならず、舞台や映画などにもおよぶ。ジャクソン・ポロックやバブロ・ピカソ、英国の若手作家などを率先して紹介し、また1970年代にはその自由な展覧会や運営で評判を高めた。

主催：森美術館

会場：森美術館 ギャラリー 1 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 53階

開館時間：10:00 - 22:00 | 火 10:00 - 17:00 *9/23〔火〕、11/3〔火〕は 22:00 まで | いずれも入館は閉館時間の30分前まで。会期中無休
入館料：一般 1,500円、学生（高校・大学生）1,000円、子供（4歳 - 中学生）500円 ※表示料金に消費税込。

※「アイ・ウェイウェイ展 - 何に困って?」と共通、展望台 東京シティビューへの入館料を含みます。スカイデッキ(屋上)への入場には別途300円の追加券が必要です。
お問い合わせ：TEL：03-5777-8600（ハローダイヤル） WWW.MORI.ART.MUSEUM

パブリックプログラム

キュレーターによるギャラリートーク *日本語のみ

ガイド：近藤健一（森美術館アソシエイト・キュレーター）

日時：2009年8月27日（木）

第1回：19:00～19:30、第2回：19:30～20:00

会場：美術館展示室内（展覧会入口にお集まりください）

定員：各回10名（当日先着順、予約不要）

料金：無料（要展覧会チケット）

アーティストトーク *日英同時通訳付

出演：小泉明郎

日時：2009年9月1日（火）19:00-20:30

会場：森美術館展示室内

定員：80名（要予約）

料金：500円

お申し込み：森美術館ウェブサイト WWW.MORI.ART.MUSEUM

※2009年6月25日（木）12:00よりお申し込み開始

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。 WWW.MORI.ART.MUSEUM

お問い合わせ 広報部 担当：渡邊、田村

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351

E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

106-6150 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

PRESS RELEASE
プレスリリース

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER